



塚幼だより

塚幼スローガン にこにこ にっこり 元気な子

高崎市立塚沢幼稚園
幼稚園通信 第10号
令和7年1月23日
発行責任者 高橋秀武

3学期も無事にスタートしました。高崎市内の小中学校ではインフルエンザが流行していますが、塚沢幼稚園では子どもたちはみな元気に園庭で遊んでいます。ご家庭での子どもたちへの充実した健康管理に感謝いたします。これからも、感染防止対策等をよろしくお願いいたします。

今年は「巳年」です。巳年は「新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年」と言われます。塚沢幼稚園では今年もたくさん挑戦をして、前向きに取り組んでいきます。

12月18日 保育参観！

12月18日（水）、塚沢幼稚園の保育参観を開催しました。

「たんぽぽ組（年少組）」の保育参観は、1階のたんぽぽ組の教室で実施しました。出し物は、楽器あそびが「きらきらぼし」、歌が「コンコンクシャンのうた」「赤鼻のトナカイ」でした。みんなで力を合わせて、笑顔で元気に、楽器をたたいたり、うたを歌ったり、とてもすてきな時間を過ごしました。

「ばら組（年中組）」の保育参観は、2階の遊戯室で実施しました。出し物は、楽器あそびが「赤鼻のトナカイ」、歌が「やまの音楽家」「クリスマスのうたがきこえてくるよ」でした。笑顔いっぱいみんなで息を合わせて、楽器を演奏したり、うたを歌ったり、楽しい時間を過ごしました。

「さくら組（年長組）」「すみれ組（年長組）」の保育参観は、2階の遊戯室で実施しました。出し物は、楽器あそびが「サンタがまちにやってくる」「レットイットゴー」、歌が「うたえバンバン」でした。楽器あそびでは、タイミングを意識して、楽器を一生懸命に演奏している姿が素敵でした。うたの発表では、力強く、元気に、素晴らしい歌声を、遊戯室に響かせてくれました。

保護者の皆様には、お忙しい中、保育参観にご参加いただきありがとうございました。



お誕生日おめでとう！

1月21日（火）、年長組と年中組の12月と1月生まれの誕生会を遊戯室で行いました。誕生会には年少組の子どもたちも参加をしてくれました。今回も年長組の子どもたちが司会をして、誕生会の進行をしました。誕生会では食べ物などのインタビューがあり、「やぎさんゆうびん」のうたをみんなで歌いました。



最後には塚沢幼稚園恒例の実験マンが登場し、「おおきなカブの実験」をしました。皆で力を合わせてカブをひっぱり、最後には年長組のお誕生日の子どもたちが加勢をしてくれてやっとカブがぬけました。子どもたちは全員で声を合わせて「うんとこしょ、どっこいしょ」とかけ声をかけて、大変盛り上がりしました。

12月24日 クリスマス会！！

12月24日（火）、塚沢幼稚園の遊戯室でクリスマス会を開催しました。遠くからすずの音が鳴り、遊戯室の後方からサンタクロースが来園してくれました。子どもたちはサンタクロースの前で、「あわてんぼうのサンタクロース」のうたをみんなで歌いました。

次に質問コーナーがあり、子どもたちはサンタクロースに4つの質問をしました。「好きなおやつはクッキー、飲み物はミルク」「トナカイに魔法をかけて、空とぶそりに乗ってくる」「プレゼントは仲間と一緒に用意している」「サンタクロースは北極からやってきた」とサンタクロースは答えてくれました。

次にダンスの時間になり、年少組は「ジングルベル」、年中組は「サンタが街にやってくる」、年長組は「タタロチカ」を、サンタクロースと一緒に楽しくおどりました。

次にサンタクロースから子どもたち一人ひとりにプレゼントが渡され、子どもたちのうれしそうな表情が印象的でした。

最後にクラスごとに記念写真を撮影して、クリスマス会は終了しました。

サンタクロースは次の子どもにプレゼントを渡すためにそりに乗って帰るので、みなで大きく手を振って見送りました。サンタクロースと一緒に過ごせた、とても楽しい約1時間のクリスマス会でした。



1月15日 お話の会(素話)と評議員会！！

1月15日（水）、塚沢幼稚園恒例の「お話の会（素話：道具を使わず、身振り手振り声だけでお話を伝える）」を開催しました。

年中組と年長組の子どもたちは、「ちからたろう」の部屋、「じゃくとまめのき」の部屋、「さんまいのおぶだ」の部屋から聞きたいお話の部屋を自分で選びました。お話が終わると話し手からシールをもらい、お話の会のカードに貼り付けて、どのお話を聞いたかを記録しました。

年少組の子どもたちはたんぽぽ組のお部屋で、エプロンシアターで「おおきなかぶ」のお話を聞きました。

なお、当日は塚沢幼稚園の評議員会があり、7名の評議員の皆様には塚沢幼稚園の保育の様子として、今回のお話の会を参観していただきました。評議員の皆様からは、お話しの方は特色のある塚沢幼稚園の素晴らしい取り組みであるとのことご意見をいただきました。

これからも、お話しの方を通して、感動できる共感できる子どもたちを育てていきます。

